

各地の話題 角田市



2020年4月3日号掲載

明日の宇宙を拓くまち ～角田で宇宙米づくり～



角田市の市民グループ「夢☆宇宙米プロジェクト」の代表で会社社長の森真孝さん(43)らは、宇宙を飛行した角田産米の種もみで米の栽培をしている。

市内には宇宙航空研究開発機構(JAXA)の施設があり、プロジェクトメンバーは安全・安心でおいしい米作りに取り組みながら、角田市の新たなブランドづ

くりも目指している。

種もみは昨年、国際宇宙ステーションの日本実験棟「きぼう」で約1か月間、無重力空間で保管され地球に帰還。市内の水田2aに作付け、台風19号による冠水被害で作柄が心配されたが、20kgほどを収穫した。

この米を使用し、実際の宇宙食と同じ製法の「夢☆宇宙米おにぎり」は、昨年11月に行われた新東北みやげコンテストでアイデア特別賞を受賞した。おにぎりは、メンバーの飲食業 三由武仁さん(40)の飲食店や「道の駅かくだ」など市内外で販売している。



メンバーで農地利用最適化推進委員を務める佐藤裕貴さん(42)は「第一次産業から地域みんなの幸せと夢を描ける未来を創っていきたい」と話す。

今年は、佐藤さんや門馬希道さん(44)の水田50aに作付けを予定している。

【記事提供：角田市農業委員会】